

会 告

会誌には一部の記事を掲載しております。詳細は本会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku.html>

(本会ホームページ→各種お知らせ→会告)

電子情報通信学会各研究会開催案内

第一種研究会 平成 29 年 10 月 4 日～10 月 28 日

開催プログラムは変更になることがあります。

最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。

<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ/NOLTA ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場
回路とシステム (CAS)	5日(木)	13:00~17:05	まちなかキャンパス長岡
非線形問題 (NLP)	6日(金)	9:40~14:15	
信頼性 (R)	20日(金)	14:00~16:45	天草市民センター
超音波 (US)	5日(木)	13:00~16:50	東北大学・青葉山キャンパス
応用音響 (EA)	21日(土)	14:30~17:00	牛岳温泉リゾート
	22日(日)	9:00~11:10	
ワイドバンドシステム (WBS)	12日(木)	15:00~17:00	リヴァージュ・スパひきがわ
	13日(金)	8:45~12:20	
スマートインフォメディアシステム (SIS)	12日(木)	13:00~17:10	東大寺・総合文化センター
	13日(金)	9:30~12:00	
イメージ・メディア・クオリティ (IMQ)	6日(金)	13:30~16:40	神戸大学・六甲台第2キャンパス
バイオメトリクス (BioX)	12日(木)	14:10~18:00	大濱信泉記念館
	13日(金)	9:00~11:50	
安全・安心な生活と ICT (ICTSSL)	10日(火)	13:00~18:05	静岡県地震防災センター・ないふるホール
	11日(水)	10:30~12:10	

◎通信ソサイエティ

(通信ソサイエティでは、技術研究報告の完全電子化に向けた取組みのため、全ての研究会で参加費をお支払頂くことになりました。詳しくは http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/e_gihou/e_gihou.html を御参照下さい。)

研究会名	日 時		会 場
アンテナ・伝播 (A・P)	19日(木)	13:30~16:50	八戸商工会館
	20日(金)	9:00~15:15	
宇宙・航行エレクトロニクス (SANE)	4日(水)	13:00~18:20	フランス文化会館
	5日(木)	9:00~17:35	
衛星通信 (SAT)	26日(木)	9:00~18:25	沖縄セルラー電話
	27日(金)	9:00~16:15	
環境電磁工学 (EMCJ)	19日(木)	8:55~17:50	あきた芸術村・温泉ゆぼぼ
		20日(金)	
ネットワークシステム (NS)	26日(木)	10:45~17:30	大阪府立大学・I-site なんば
	27日(金)	10:45~12:00	
電子通信エネルギー技術 (EE)	16日(月)	10:00~17:10	東北大学・カタールサイエンスキャンパスホール
	無線電力伝送 (WPT)	17日(火)	
情報ネットワーク (IN)	10日(火)	13:00~18:05	静岡県地震防災センター・ないふるホール
	安全・安心な生活と ICT (ICTSSL)	11日(水)	

光通信システム (OCS) 光エレクトロニクス (OPE) レーザ・量子エレクトロニクス (LQE)	26日(木) 27日(金)	9:40~16:10 9:30~15:15	桜の馬場城彩苑 (熊本)
無線通信システム (RCS)	19日(木) 20日(金)	9:00~18:00 9:00~17:30	東北工業大学・八木山キャンパス
光ファイバ応用技術 (OFT)	12日(木) 13日(金)	15:00~16:45 9:05~11:45	高知県立県民文化ホール
インターネットアーキテクチャ (IA)	13日(金)	10:00~17:55	東京大学・本郷キャンパス・福武ホール
スマート無線 (SR) 短距離無線通信 (SRW)	23日(月) 24日(火)	9:00~17:55 9:00~18:15	Grand Hotel Palatino, Rome, Italy

◎エレクトロニクスソサイエティ

(エレクトロニクスソサイエティでは、技術研究報告の完全電子化に向けた取組みのため、一部の研究会で参加費をお支払頂くことになりました。詳しくは http://www.ieice.org/es/jpn/trial2017_HP/About_ES_trial.rev.html を御参照下さい。)

研究会名	日 時	会 場
機構デバイス (EMD)	20日(金) 13:00~17:15	甲府市商工会議所
磁気記録・情報ストレージ (MR)	19日(木) 13:00~17:30 20日(金) 9:15~12:00	東京電力・柏崎エネルギーホール
超伝導エレクトロニクス (SCE)	4日(水) 15:00~17:05 5日(木) 10:00~12:05	東北大学・電気通信研究所・ナノスピコン総合研究棟
電子ディスプレイ (EID)	26日(木) 13:00~16:45	機械振興会館
電子デバイス (ED)	26日(木) 13:30~17:10 27日(金) 9:30~12:05	東北大学・電気通信研究所・本館
電子部品・材料 (CPM)	4日(水) 13:00~17:45	機械振興会館
電子部品・材料 (CPM)	27日(金) 13:20~17:30 28日(土) 9:20~12:15	信州大学・長野(工学)キャンパス
シリコン材料・デバイス (SDM)	25日(水) 14:00~17:20 26日(木) 9:30~14:30	東北大学・未来情報産業研究館
マイクロ波 (MW) エレクトロニクスシミュレーション (EST) 環境電磁工学 (EMCJ)	19日(木) 8:55~17:50 20日(金) 8:55~17:00	あきた芸術村・温泉ゆほぼ
光エレクトロニクス (OPE) レーザ・量子エレクトロニクス (LQE) 光通信システム (OCS)	26日(木) 9:40~16:10 27日(金) 9:30~15:15	桜の馬場城彩苑 (熊本)

◎情報・システムソサイエティ

(情報・システムソサイエティでは、技術研究報告の完全電子化に向けた取組みのため、一部の研究会で参加費をお支払頂くことになりました。詳しくは https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/About_ISS_trial.html を御参照下さい。)

研究会名	日 時	会 場
MEとバイオサイバネティクス (MBE) ニューロコンピューティング (NC)	7日(土) 9:30~17:45	大阪電気通信大学・駅前キャンパス
画像工学 (IE)	5日(木) 13:00~18:45 6日(金) 8:30~12:30	長崎総合科学大学
コンピューション (COMP)	27日(金) 10:00~16:20	成蹊大学
ソフトウェアサイエンス (SS) ディペンダブルコンピューティング (DC)	19日(木) 13:15~18:05 20日(金) 9:30~11:30	高知市文化プラザかるぼーと
パターン認識・メディア理解 (PRMU)	12日(木) 9:30~17:20 13日(金) 9:00~16:20	熊本大学・工学部・黒髪キャンパス
音声 (SP) 福祉情報工学 (WIT)	19日(木) 13:00~18:30 20日(金) 8:50~12:30	九州工業大学・附属図書館
教育工学 (ET)	21日(土) 10:00~16:30	九州工業大学・戸畑キャンパス

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場
ヒューマンコミュニケーション基礎 (HCS)	27日(金)	10:15~16:00	東広島芸術文化ホールくらら
ヒューマン情報処理 (HIP)	23日(月) 24日(火)	13:10~17:30 9:20~16:10	京都テルサ
メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎 (MVE)	19日(木) 20日(金)	10:45~18:20 9:00~12:10	北見工業大学
福祉情報工学 (WIT) 音声 (SP)	19日(木) 20日(金)	13:00~18:30 8:50~12:30	九州工業大学・附属図書館

◇第二種研究会開催案内

第64回機能集積情報システム研究会	10月13日(金)	徳島大学・工業会館
第2回集積光デバイスと応用技術研究会	11月9日(木), 10日(金)	瑠璃光

◇第二種研究会発表募集案内

第31回多値論理とその応用研究会	平成30年1月6日(土), 7日(日)	明治大学・生田キャンパス
------------------	------------------------	--------------

● 受賞候補者募集等 ●

——平成 29 年度学術奨励賞・受賞候補者推薦用紙——

今年度の学術奨励賞は、2017 年総合大会（名城大学）及び、2017 年ソサイエティ大会（東京都市大学）の講演者を対象に選定致します。受賞者は、上記 2 大会における各座長、各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会委員・投票委員及び一般会員等からの推薦を各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会が所定の手続に従い審査して理事会で決定致します。

つきましては、今回は 2017 年ソサイエティ大会の講演者を対象として募集致しますので、下記の推薦要領を御参照の上多数の会員の方々が御推薦下さるようお願い致します。

- <被推薦者の条件> 1. 2017 年ソサイエティ大会において講演者として登録かつ講演を行った者（一般講演、シンポジウム講演）であること。
 2. 当該大会の開催年の 12 月 31 日において 33 歳の誕生日を迎えていない者であること。
 3. 過去に本奨励賞を受けたことのない者であること。

<推薦者の資格及び推薦数・推薦用紙>

本会正員に限る。前記被推薦者の条件 1.～3. 項に該当し、適格と認められる者 1 名を推薦。下記の推薦用紙を切り取り所定事項を漏れなく記入し、電子情報通信学会事務局大会・研究会部宛てに郵送すること。

<締切期日> 平成 29 年 10 月 13 日（金）必着（以後の到着は無効となります）

..... 切 取 線

平成 29 年度学術奨励賞・受賞候補者の推薦用紙

ふりがな 講演者氏名 (条件 1) 所属		年齢： (条件 2)
発表大会名	2017 年ソサイエティ大会(東京都市大学)	
(講演番号)	()	
題 名		
推 薦 理 由		
推 薦 者 氏 名	正 員 (会員番号：)	

(注) ・推薦理由は、必ず記入して下さい。

——末松安晴賞候補者推薦について——

***** Nomination guidelines for the 2017 SUEMATSU-Yasuharu Award of IEICE *****
(English site: http://www.ieice.org/eng/about_ieice/suematsu_yasuharu_award.html)

平成 26 年度第 4 回理事会（平成 26 年 9 月 16 日）において、末松安晴賞が新設されました。本賞は、電子情報通信分野で、学術、技術、標準化などにおいて特に顕著な貢献が認められ、今後の進歩・発展が期待される若手研究者、技術者・実務家に授与されるものです。

本会正員からの平成 29 年度末松安晴賞候補者の推薦を求めます。下記推薦条件及び関係規程を御参照の上、積極的な御推薦をお願い致します。

末松安晴賞候補者の推薦にあたっては、推薦候補者の生年月日に特に御注意下さい。

推薦条件及び規程

1. 候補者（被推薦者）
 - ・推薦された年の 12 月 31 日において 40 歳の誕生日を迎えていないこと
 - ・過去に本賞を受賞したことがないこと
2. 推薦者
 - 本会正員 2 名（少なくとも 1 名は候補者と別機関に所属）
 - ※自薦は認めない
3. 推薦方法
 - 推薦書及び業績を裏付ける資料を事務局総務部宛て平成 29 年 11 月 30 日（消印有効）までに郵送すること
4. 手続及び推薦書様式等
 - 推薦書様式は下記よりダウンロードして下さい。
 - <http://www.ieice.org/jpn/suematsusho/>
5. 選奨規程 下記参照
 - 日本語： <http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/senshoukitei.pdf>
 - English： http://www.ieice.org/eng/about_ieice/provisions_for_commendations.pdf
 - 〈推薦書類送付先〉
 - 〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 一般社団法人電子情報通信学会総務部
 - Mail to: The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers Kikai-Shinko-Kaikan Bldg., 3-5-8, Minato-ku, Tokyo, 105-0011 JAPAN

——平成 29 年度論文賞候補論文推薦について
(通信ソサイエティ) ——

通信ソサイエティから、ソサイエティ会員（正員）の皆様へ平成 29 年度論文賞候補論文推薦のお願いです。論文賞は、各ソサイエティ論文誌に掲載された論文から、特に優秀なものを毎年各 3 編選出し表彰するものです。通信ソサイエティ会員（正員）の皆様には積極的な御推薦をお願い致します。

なお、論文賞候補に推薦された論文は、通信ソサイエティ論文賞候補論文としても推薦されます。通信ソサイエティ論文賞は、通信ソサイエティが 2006 年度に創設し、カテゴリー別に優れた論文を年間 11 編まで選定し表彰するものです。

論文賞候補の推薦にあたっては、下記サイトに記載の推薦条件等を御参照の上、ご推薦下さい。

<http://www.ieice.org/ronbunsuisen/b/>

推薦期日 平成 29 年 11 月 1 日（水）

——情報・システムソサイエティ論文賞
候補論文推薦依頼——

情報・システムソサイエティでは、本部論文賞とは別に情報・システムソサイエティ論文賞を設けております。情報・システムソサイエティ正員の皆様には積極的な推薦をお願い致します。本賞は和・英論文誌 D に掲載された論文（レターは含まれない）から、長期的視点に立って特に優秀な論文を原則 1 件選び、その著者に贈呈します。詳細及び御推薦は下記 Web サイトよりお願い致します。

<http://www.ieice.org/ronbunsuisen/d2/>

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●電気通信大学

公募人員 情報学専攻 准教授又は助教1名

専門分野 IoT及びIoTセキュリティを扱う学問分野並びに技術分野

応募締切 平成29年10月13日(金)17:00(日本時間)必着

問合先 セキュリティ情報学プログラム 教授 崎山一男

sakiyama@uec.ac.jp

詳細 http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad_20170817.pdf

●電気通信大学

公募人員 基盤理工学専攻電子工学プログラム 助教1名

専門分野 デバイス・回路(電子・光デバイス, エネルギー変換, センサ, 量子効果デバイス等)

応募資格 博士の学位。平成30年4月1日時点で35歳以下(文科省国立大学改革強化推進補助金対象, 雇用対策法施行規則第1条の3第1項3号二の例外事由に該当)

着任時期 平成30年2月1日以降の平成29年度内

応募締切 平成29年11月13日(月)必着

詳細 勤務形態, 提出書類, 提出先等の詳細は下記URLを参照
<http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>

●沖縄科学技術大学院大学

公募人員 約2名

専門分野 コンピュータサイエンス系

応募締切 平成29年10月15日(日)必着

応募方法 OIST Web ページ参照

<https://groups.oist.jp/facultypositions>

問合先 OIST Faculty Recruiting Team (faculty-recruiting@oist.jp)
まで英語で御連絡下さい

●東京農工大学

公募人員 大学院電気電子工学専攻テニユアトラック准教授1名

専門分野 電気電子工学及びその関連分野

IoT社会をリードする高速, 省エネルギー, 多機能, 高集積な広い意味でのデバイス及びシステムに関する
独創的な基礎研究, 応用研究を行い, 次世代電気電子
情報工学分野の新しい潮流を創造できる方

応募締切 平成29年10月15日(日)必着

問合先 以下のURL参照のこと

[http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/outline/
kyousyoku/kyouin/20171015_ee_.pdf](http://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/outline/kyousyoku/kyouin/20171015_ee_.pdf)

●秋田県立大学

公募人員 助教1名

所属 システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科
応用制御システム講座

専門分野 通信工学とその関連分野

着任時期 平成30年4月1日

応募締切 平成29年10月31日(火)必着

問合先 知能メカトロニクス学科長 磯田陽次

isota@akita-pu.ac.jp

詳細 下記URL参照

<http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/saiyo.htm>

●秋田県立大学

公募人員 助教1名

所属 システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科
知能化機械システム講座

専門分野 人間支援メカトロニクスとその関連分野

着任時期 平成30年4月1日

応募締切 平成29年10月31日(火)必着

問合先 知能メカトロニクス学科長 磯田陽次

isota@akita-pu.ac.jp

詳細 下記URL参照

<http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/saiyo.htm>

●一関工業高等専門学校

募集人員 助教1名

所属 未来創造工学科情報・ソフトウェア系

専門分野 高度ICT分野

担当科目 上記専門分野に係る科目

着任時期 平成30年2月1日以降できるだけ早い時期

応募締切 平成29年12月8日(金)必着

詳細 提出書類, 書類の送付先, 問合先など公募に関する詳細は下記のURLを参照のこと

<https://www.ichinoseki.ac.jp/kyoin-kobo.html>

●群馬工業高等専門学校

募集人員 助教1名

所属 電子情報工学科

専門分野 情報工学

担当科目 電子情報科目, プログラミング科目, 工学実験及び卒業研究指導並びに専攻科生産システム工学実験等

着任時期 平成30年4月1日

応募締切 平成30年1月12日(金)17:00必着

詳細 提出書類, 書類の送付先, 問合先など公募に関する詳細は下記のURLを参照下さい

<http://www.gunma-ct.ac.jp/gakko/13.htm>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL: <http://www.ieice.org/jpn/books/ad/kyokanshainbosshu.html>

◎次回締切 12月号掲載分 平成29年10月25日(水)必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL: <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanbosshu.html>

●…………… お 知 ら せ ……………●

——平成 30 年度代議員選挙の

立候補申請について——

「代議員の選出に関する規程」に基づき、平成 30 年度代議員選挙の立候補を受け付けます。

- ・立候補者：代議員の立候補者は本年 9 月 1 日現在、正員として 5 年以上在籍する会員で、正員等の推薦者 5 名を付して代議員となることを申し出た者とします。
- ・立候補の締切：平成 29 年 10 月 31 日 学会事務局必着とします。
- ・立候補届：以下の立候補届に所定の内容を記入し、下記まで郵送下さい。

☆立候補届用紙は下記の URL にあります。

<http://www.ieice.org/jpn/30daigiinrikkouho.pdf>

- ・郵送先：〒105-0011 港区芝公園 3-5-8
機械振興会館 101 号室
電子情報通信学会事務局

——電子情報通信学会東京支部教育イベントの

公募について——

電子情報通信学会東京支部では、本会定款の「電子工学および情報通信に関する学問、技術の奨励および普及事業」として、我が国の未来を担う子どもたちに自然科学、特に電子情報通信分野や関連分野の科学技術のおもしろさ、すばらしさを実感、体感してもらえるイベントを企画することにより、「理工学系離れ」や「科学嫌い」の問題解決に寄与していきたいと考えています。そのため、これまでも東京支部が主催する各種教育イベントを企画、実施してきました。

更にその活動を広げることを目的として、本会東京支部会員から、一般の小、中、高校生を対象とした草の根的な教育イベントの企画提案を募集します。企画・イベントの実施に際しては、東京支部が共同主催し、そのイベントに掛かった実費または実費の一部を分担したいと考えています。

なお、応募要領の詳細につきましては、東京支部ホームページ (<http://www.ieice.org/tokyo/koubokuyouikuibento.html>) を御覧下さい。

——住所変更届け及び学生員申請について——

【住所変更】

ホームページ上から、会誌送付先や所属の変更をすることができます。転居等がございましたら、速やかに下記のいずれかの方法にて、事務局に御連絡をお願い致します。毎月 15 日までに変更申請を事務局で受理したものを、翌月号の発送から変更致しません。

- ①本会ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/index.html>)
→会員サービス→マイページ
- ②本会ホームページ→会員サービス→各種届け出→住所変更届け

【学生員申請】

4 月以降、大学院等への進学により学生員の継続を希望される方は、「学生員申請」をお願い致します。

- ①本会ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/index.html>)
→会員サービス→マイページ
- ②本会ホームページ→会員サービス→各種届け出→学生員申請

●…………… お 知 ら せ ……………●

——平成 29 年 10 月号及び 11 号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

11 月号 [英文] Smart Multimedia & Communication Systems
(通信ソサイエティ)

10 月号 [英文] Opto-electronics and Communications for Future Optical Network

11 月号 [英文] Network Virtualization, Network Softwarization and Fusion Platform of Computing and Networking

(エレクトロニクスソサイエティ)

10 月号 [英文] *Opto-electronics and Communications for Future Optical Network

*Microwave and Millimeter-Wave Technology

10 月号 [和文] 学会創立 100 周年記念論文

11 月号 [英文] Electronic Displays

(情報・システムソサイエティ)

10 月号 [英文] *Security, Privacy and Anonymity in Computation, Communication and Storage Systems

*Advanced Log Processing and Office Information Systems

◇ ◇ 「電子情報通信学会 100 年史」販売の御案内 ◇ ◇

電子情報通信学会は、本年5月1日に創立100周年を迎えました。記念事業の一環として、100年史刊行委員会において、この100年間に目覚ましい発展を遂げた電子・情報・通信技術の歩みを顧みるとともに、明るい未来を願って将来展望をまとめた100年史を編纂致しました。

このたび、創立100周年記念式典に参加された方々、記念事業への協賛募金に御協力頂いた方々に進呈した100年史を、広く希望者にお分けすることとなりましたので、御案内致します。

本100年史は、特に、技術発展の担い手として活躍しておられる技術者はもとより、これから活躍されることになる若い関連技術者にとっても益が多く、今後の発展に向けた様々な示唆を得ることができると考えます。

この機会に是非御購入下さい。

B5判ハードカバー（箱入り）/462ページ/2色刷り

定価 本体8,000円+税（送料別）

お申し込みは下記URLからお入り下さい

URL <http://www.ieice.org/jpn/books/100th.html>

※お申し込みに関するお問合せは事務局会員サービス部会員課までお願い致します。

TEL [03] 3433-6691（ガイド：1） E-mail: kaiin2@ieice.org

.....

100年史の構成概要 (http://www.ieice.org/jpn/100th/100_year_history.html)

第1部：電子情報通信学会100年の歩み

本会の創立以来の組織構成と主な活動の変遷、及び100周年記念事業について紹介します。

第2部：電子情報通信技術100年の発展

本会が扱っている電子・情報・通信の技術領域を、基礎・境界/NOLTA、通信、エレクトロニクス、情報・システムの各ソサイエティが扱う分野に分けて、100年間の技術の発展を概説します。なお、ヒューマンコミュニケーショングループが対象とする技術は、情報・システムソサイエティが扱う分野に含めています。

第3部：電子情報通信技術の将来の発展につながるトピックス

明るい未来につなげることを狙いとして、現在話題となっており、これからの発展が特に強く期待される技術を、過去の歴史だけでなく将来の展望を含むトピックスとして解説します。トピックスのうち、本会において過去・将来ともに特に重要な位置を占めるものと判断され、背景を含む通史的なストーリーある読み物として解説すべき技術を大トピックスとして位置付けて解説します。

